

令和4年度 第1回日南町総合教育会議 会議録

招集年月日	令和4年8月24日(水)
招集場所	日南町役場 第2会議室
開 会	午前10時30分 教育長
出席委員	中村町長 青戸教育長 中村教育委員 西村卓也教育委員 山脇教育委員
欠席委員	西村彰滋教育委員
オブザーバー	丸山副町長、實延総務課長、段塚教育次長、見世日南中学校長、三上日南小学校長、山本こども園長、三上課長、福田室長、寺澤室長、長谷部参事

議 事 日 程		
議 事 の 経 過		
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
1 開会 挨拶	教育長 町長	開会 今年度は異常気象の年と気象庁からの発表があった。日野上にある小水力発電公社の資料によると、川の水量が3月は過去最高だったが、4月から7月は例年よりもぐっと少なく、特徴的な今年前半の気象であった。小中学校は新たな校長を迎え、こども園も新たにスタートしている。前半期の現状、課題の報告をお願いしたい。また、本日の議題でもある給食費の無償化については、議会の一般質問でも繰り返し質問されており、保護者アンケート等踏まえながら、皆様と深掘りして協議していきたい。
2 報告 ○1学期のこども園・小中学校の現状報告について	教育長 山本園長	○1学期の園小中学校の様子について こども園、小中学校から1学期の様子について話していただきたい。 4月よりこども園がスタートし、にちなん十色64名、山の上分園6名、石見分園12名が通園している。幼稚園と保育園の機能を併せ持った施設であるが、現在は幼稚園の利用者はいない。教育・保育内容としては、こども園教育・保育要領に沿って、一人ひとりの発達に合わせて教育を実施している。教育・保育の理念は、新宿せいがこども園の「見守る保育」を参考に、異年齢、こども主体、選択制、人とのかかわり、チーム保育の5つのポイントを保育・教育に生かしている。実践として、にちなん

町長	小さな自治体で無償化の動きが出てきている。所得の少ない家庭への補助など、子育て支援の政策も併せて実施されている。食材をどう考えていくか、推計的に子どもの人数が減っていくなど併せて、必要性について日南町の中で考えていただけたらと思う。また、保護者アンケートでは8割が現状維持となっているが、保護者の中で課題と感じているか、感じているのなら解決していく必要があると思う。日南町は食料自給率が290%あり、町内産の食材、より安全性の高い食材などおいしい給食の提供も考慮しながら、無償化が必要か、負担軽減が必要か、臨時的ではなく恒常的な考えで意見交換をお願いしたい。
教育長	無償化にすることで、子育て世代の負担減になることは確かである。財源の面で、給食費よりも必要とされていることはないかなど、いろいろな方向から検討していただけたらと思う。
教育委員	保護者アンケートで8割は現状維持とあるが、残りの2割の意見について教えてほしい。
事務局	昨年度実施したアンケートでは、令和2年度より月25円の町からの補助が始まったことへの感謝の意見が多く、保護者が払うべき、残菜解消のため量の調整するなどの見直し意見が主だった。無償化について報道等で伝えられているので、今アンケートを実施すると違う意見が出る可能性はある。
教育委員	保護者が食事ぐらいは負担すべきといった意見もあるが、日南町の貧困家庭の実態を把握できないと意見が出しにくい。
事務局	就学援助制度（準要保護対象生徒への援助）への申請数は多くないが、申請数だけでは判断できない家庭的な面や、運用が自己申請なので十分把握しきれていない面もあるので考えていきたい。
教育長	数字だけでは見えない部分は確かにあるが、制度への保護者への積極的な啓発は実施したい。
教育委員	必要な支援が保護者に浸透するように対応をお願いしたい。また、援助制度の申請だけでは判断できない家庭的な現状については、横の連携で手を差し伸べてほしい。
町長	援助制度への情報発信方法について知りたい。
事務局	就学援助制度の説明は就学説明会で実施しているが、今年度1、2学期と文書配布を実施している。
町長	制度の審査基準についてはどうか。
事務局	生活保護の基準があり、それに対しての世帯収入に応じた審査基準がある。
教育長	日南町は援助制度や特別支援に手厚い町だと自負しているが、今後も学校、民生委員（福祉保健課）、

		教育委員会が協力して実態把握をしていきたい。
	教育委員	保護者の立場としては負担が減るのはうれしいが、町が負担するということは、税金なので町民の負担に戻ってくる。食事は人間が生きていくうえで必要であり、教育現場であろうと家庭であろうと、食事を賄うのは親としての責任だと考える。各市町村の施策方針は色々あるだろうが、無償化が流行り言葉になっている面はないか、本当に必要なのかを精査する必要があると感じる。
	教育委員	価格交渉など積極的に子ども達のために良いものを安くといった食材調達への取り組みを実施されてはと思う。
	事務局	現在、食材は栄養士が発注するシステムであり、定価納入が基本である。ありがたい意見をいただいたので、今後関係者と検討して、相談させていきたい。
	教育長	安全、安心な食材供給として、農協女性部を中心に供給方法や食材内容については協議して、密接な関係を保っているの、今後は価格交渉をはじめ情報交換を給食会など通して、話し合っていきたい。
	事務局	町内食材は山菜、季節の食材など提供いただき、他の市町村よりも利用が多いことが、日南町の特色でもある。生産者との協議を今後も実施しながら、安全でおいしい食材の調達をしていきたい。
	教育委員	給食時間は食育といった教育の部分もある。生産者との会食などを通しての食育も実施されてきている。教育部分ということは、無償化の対象になるのではと思う。しかし、財源は税金が使われるので、本当に必要な部分の見極めも必要という意見にも賛同できる。繰り返しになるが、本当に必要な家庭へネットワークを通じて援助を届けてほしい。また、そういう家庭への誹謗中傷にならない配慮が必要である。
	教育長	全国教育長会で六十年も前から給食を無償化している町の話聞いたが、当たり前になっている部分もあり、それでいいのか、教育的な部分も必要なのではという思いも浮かんだ。
	教育委員	給食には、地域の料理や伝統的な料理など、家庭では体験できない料理を食べる機会もある。保護者が給食を食育、教育として必要なものと考えているかどうかも大切になってくる。
	教育委員	先ほどアンケートを取る話が出たが、保護者が目的を理解してアンケートに答えられるものでないといけない。日南町としてどこに目的をおくかが重要である。ただ無償化にしてほしいだけなら、他にもっと必要な教育、福祉の施策があると思う。必要な人にしっかり援助をしながら、税金と同じで出

町長	すべきお金だと思う。また、弁当を作らなくて済むといった保護者支援の面も含まれていると思う。
事務局	現状把握として、アレルギーで給食が食べられない子、弁当を持ってきている子、朝食を食べていない割合、給食費の滞納について伺いたい。また他町村を知る校長には、給食について感想を伺いたい。アレルギーは除去食で対応している。弁当に関しては、保護者の方針で弁当を持ってきている家庭がある。朝食は栄養教諭のアンケートによると、中学生になってくると割合が高くなっている。対策としては、朝食の重要性について、啓発文章を配布したりして取り組んでもらっている。滞納については、支払いの遅れはあるが、督促して支払いをしてもらっている。
三上校長	小学校の朝食調査では100%朝食を食べているという結果が出ている。日南町の給食の特徴として、他町村はパンがよく出るが米飯給食が中心で、温かい給食が食べられる。香茸ご飯など珍しいご飯も食べられるので、外から来た者はありがたみを感じている。子ども達にも伝えていきたい。
見世校長	おいしくいただいている。子どもがどれだけありがたみを感じているかという意見が出たが、教えていかなければいけないと思う。
教育長	日南町の食育の取り組みですばらしいと感じることが、校内放送等で本日のメニュー、食材の提供者を伝えており、この取り組みも安心、安全につながっていると思う。また、放送を通じて子どもたちが、日南町の業者に興味を持って後継者につながるなど効果も考えられる。
見世校長	援助制度の要保護、準用保護の割合、金額の基準レベルが他町村と比較してどうなのかを調べることで、日南町の現状や困っている人に届いているかがわかるので、ぜひ調査をお願いしたい。また、朝食を食べてこない家庭についても、支援を必要としている家庭なのかどうか関係してくると思う。
教育長	必要などころに必要な手立てができていくか調べていきたい。結論には達していないが、きめ細やかさが必要だと感じているので、今後も議論を重ね、無償化なのか、一部無償化なのかなど検討していきたい。
副町長	日南町は、学校給食会が行っているが、今後は公会計として取り組むべきだと思う。皆さんの話を聞いて、給食は子育て支援か教育の一環なのか、大義名分を立てる必要があると感じた。税対策についても話をしているが、未納の部分についても、大変になる前に施策を紹介するなど相談していく必要があると思う。無償化して安心、安全な食材を食べてもらいたいが、財源から言えば借金にもつなが

4 その他 ○シアトルの 派遣について	総務課長	り、後世の負担につながってくる。ぜひ国策で取り組んでほしいと感じた。今後に向けては、教育委員会としての方針をしっかりと持って取り組んでほしい。
	教育長	学校給食にフォーカスされて討議できたことがよかった。今後は、子ども達も含めて対話していければと思う。町全体に関わることなので、執行部とも情報を共有していき、全体で協議していきたい。
	事務局	○その他 シアトルの派遣について教育課より現段階の状況を報告する。
		水際対策や現地の状況を踏まえて今後の対応について判断するようにしている。9月末には募集をしなければいけないが、ワクチン接種の条件からいくと、5年生以上が対象となる。また、15名分の予算が取っており、令和元年度応募している生徒へも声掛けして、意向調査をしていきたい。課題として、昨今の円安により当初予算で賄えるかどうか、現地にも依頼して調査中である。場合によっては、人数を絞るののかも協議していきたい。引き続きコロナ対策がネックとなるので、情報収集をしていきたい。
	教育委員	日南町の子どものあり方検討会で示された日南学について、地域と学校との連携で日南町はどんな姿を目指すのか、組織的な形を作っていくべきだと思う。学校での日南学は進んでいるが、地域での推進は、教育委員会だけでは難しく、町としての方針が必要となってくるのでは。
	町長	コロナの関係で地域やまち協もやりたいことができていない現状がある。まちづくり協議会の5か年計画の中に日南学も組み込めば組織的な動きになっていくと思うので、再確認していきたい。
5 閉会	教育長	組織としては、企画課にも加わってもらい、最終的には5か年計画に子ども達のころから加わっていく流れが作っていければと思う。また意見をいただいた、学校給食会については公会計にしていきたいと教育委員会でも考えている。
	町長	今後、報告は紙ベースで情報共有していく流れでお願いしたい。無償化への協議は、数値的な部分等事務局で調査してから、施策として取り組んでいきたいと考えている。
	教育長	閉会

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会教育委員